

平成24年11月27日（火） 開発審査会 議事録

出席者 【開発審査会】

安田会長、古戸委員、天野委員

【建築住宅課（事務局）】

原田課長、永浦課長代理、升野GM、佐藤SM、楠美主査

【弘前市】

伊藤主幹、村上総括主査

傍聴者 0名

議事

【司会（建築住宅課 建築指導グループ 楠美主査）】

これより開発審査会を開会いたします。

なお、本日は都合により千葉委員、小笠原委員が欠席となっております。

では、はじめに、原田建築住宅課長より挨拶を申し上げます。

【挨拶（原田建築住宅課長）】

（略）

【司会】

それでは、これより議事に入ります。

今回の審査会については1件の諮問案件があり、「青森県開発審査会の公開等に関する取扱要領」に基づき、公開となります。

それでは安田会長、議事の進行をお願い致します。

【安田会長】

それでは、第1号議案から始めたいと思います。

○第1号議案 平川市諮問：

都市計画法第43条の建築許可について（有料老人ホーム）

【弘前市】説明者：村上総括主査

（議案説明書にて説明）

【安田会長】

ただいまの説明について、何か質問はありますか。

【古戸委員】

15人槽の浄化槽はどのようなになっているのですか。

【弘前市】

平成15年のグループホーム開設時に設置した15人槽の浄化槽です。

【安田会長】

この浄化槽は現在も使われているのですか。

【弘前市】

現在も使っています。

【古戸委員】

グループホームとは。

【弘前市】

追加でお渡しした資料にある土地利用計画図を見てください。

平成15年当時は規則第60条証明を受けており、319の4、319の1、319の3の3筆の中でまずはグループホームを開設しています。

その後、平成18年に、このグループホームに有料老人ホームを増設しています。当初は2階建てでグループホームを開設していましたが、平成18年に都市計画法の43条の許可を受けて3階、4階部分を増設し、現在4階建てとして利用しています。その際に60人槽の合併浄化槽を新たに設置しています。

【古戸委員】

では、15人槽の浄化槽部分のある敷地は関係ないので外れているのですか。

【弘前市】

追加資料の案内図に有料老人ホームと記載していますが、今の申請地の西側に平成22年に開発審査会に附議しまして有料老人ホームを新築しています。

その際に接道条件等を満たすために、許可を受けた敷地を通路として幅4メートル分利用して奥の方に入って行くような計画で新たに許可を受けています。

そのため、平成18年に許可を受けた敷地を西側の有料老人ホームの敷地として再度許可を受け直しています。

よって、その部分は、西側の有料老人ホームの敷地として利用されていることから、今回の申請敷地からは除かれています。

【安田会長】

その辺りについて、全体を記載した図面があればわかりやすかったのですが。

【古戸委員】

そうですね。

【安田会長】

今度、このような物件があれば、全体を示した図面を議案説明用資料として用意していただければわかりやすいと思います。

あとは、浄化槽の増設により、加藤川への放流量が増えることで条件が変わってくると思いますが、放流についての許可とかは大丈夫ですか。

【弘前市】

今回、新たに50人槽の合併浄化槽が設置されます。既存の合併浄化槽2基についてはポンプ槽を経由して圧送管により加藤川へ放流していますが、新設の合併浄化槽については新設の圧送管を既存の圧送管に接続し排水する計画となっています。

排水が増えるということで、この部分について問題がないか、準用河川である加藤川を管理している当市の土木課河川係と事前に協議しており、今回の計画については問題ないということで確認を受けています。

【安田会長】

放流量が増えることで、申請者からの申請とか変更届とか何らかの手続きはいらぬのですか。

【弘前市】

平成17年に、加藤川に放流することについて、当市の準用河川を管理している担当と土地改良区と事前に協議を交わしています。

排水量が増えることについては改めて協議しており、土地改良区と当市の河川係から問題ないと回答を得ています。

【安田会長】

後々問題にならないように文書等しっかりとしておいたほうが良いので、そのあたり気を付けてください。

【弘前市】

はい。

【安田会長】

あと何か意見はありますか。

(意見なし)

【安田会長】

それでは、許可に同意ということでいかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【安田会長】

それでは、建築について同意するということに決まりました。

【司会】

本日、審査会で取り上げられました議案は、同意ということで手続きを進めさせていただきます。

これで本日の開発審査会を閉会いたします。ありがとうございました。